



南 港



男鹿市立船川第一小学校

学校報No.3 令和8年7月1日

未来をひらく くじらっこ

～やさしく かしく たくましく～

文責 校長 清水 琢

違いを認め合い、寄り添う心

子どもたちにとっての学級や友達は、いつの時代も大切な存在です。この友達について、「学級全員がみんなの友達」と本当に言えるのかを考えてみました。

「友だち幻想」(菅野仁著)という本の中で、著者は「学級全員がみんな仲良くなれる、みんな友達になれる」というのは、幻想ではないかと言っています。何十人もの人が一つの部屋にいれば、その中に気の合う人もいると思います。しかし、あまり気の合わない人、ちょっと苦手だなと感じる人がいてもおかしくないと思うのです。程度の差はあれ、友達に関することで一度も悩んだことのない小学生はほとんどいないのではないのでしょうか。ご家庭でも、お子さんから「〇〇さんと合わないんだよね」といった相談を受けることがあるかもしれません。そうした思いをもつことは否定されることではありません。合わない人がいてもいいのです。

大事なものは、自分と合わない人のことを傷つけたり、集団の中から排除したりしないということです。そして適切な距離感を保ち、互いに思いやりながら一緒に過ごす。それが、大人になる過程で身に付けたい人付き合いの作法ではないのでしょうか。

学校は、これまで「全員が一つになる」ということを求めてきたように思いますし、世の中もそういう人材を求めていました。実際にこれまでの学校行事では、みんなで力を合わせ、目標に向かって進むことで、何物にも代え難い充実感や達成感を抱いてきました。しかし、現在のように一人一人の個性が尊重され、価値観が多様になっていく時代の流れの中では、「みんなが一つに」というのは、とすると同調圧力と捉えられ、排除の標的となってしまいかもかもしれません。

違いや異質さを攻撃するのではなく、「一つにならなくともいい。違いを認め合えればいい」。世の中の全員がそんな気持ちになれることの方が、お互いに気持ちよく生活していくためには大事なのだと私は思います。

私たちは、一生の中でたくさんの人と出会います。そして大人になっても人間関係の悩みは尽きません。そんなとき、支えになるのも、やはり友達です。船川第一小学校で過ごした全ての子どもたちが、これからの人生で誰か一人でも「本当の友達」に出会えることを願っています。

私たち教職員は、子どもたちが幸せな人生を送るために必要な力を付けていくことができるよう、これからも全力で応援していきます。



くじらっこウオークラリー ～全校で船川を散策～



6月9日に、雨のため一日延期となったウオークラリーを行いました。はじめの会や終わりの会では、運営委員会の児童が、聞き手をしっかりと見ながら言葉を届けていました。原稿の棒読みではない、伝えようとする意志が感じられる姿が全校児童のお手本となりました。

子どもたちが今よりも大人になったとき、「そういえば小学校の時、船川の町を歩いたなあ。〇〇さんと一緒に歩いたなあ」などと思い出してくれればとても嬉しいです。そしてこの後も、船川や男鹿中、北浦の宝をどんどん見付けて、もっともっとふるさと男鹿のことを好きになってくれたらなあと思っています。

くじらっこの活躍 ～ Good job ! ～

魁星旗争奪 少年サッカー 2026
準優勝 グロースFC

ワールドカップが始まり、サッカー人気も再び上昇中です。この二人も未来の日本代表かもしれません♪
応援してますよ～!



ライオンズクラブ文庫 ～読書で心も大きく～

今年度も男鹿ライオンズクラブ様と下間俊悦様より男鹿市教育委員会を通して、学校図書整備費のご寄付を頂戴し、5冊の図書を購入することができました。



昨今は本も値上がりして、紙の本を読むのはとても贅沢なことになってきていますが、ご寄付のおかげで子どもたちは、その贅沢な時間を過ごすことができます。心より感謝申し上げます。
子どもたちの未来への糧とさせていただきます!

くじらっこスクールボランティアの皆様

見守り隊、クラブ活動、昔語り、読み聞かせ、生け花、学習支援、図書整備など、本校は、多くの地域の皆様より支えていただいております。

5月28日の「こんにちは集会」では、今年度のボランティアの方々と出会い、「お願いします」と挨拶しました。

その道の専門家の方々より、教科書には載っていない様々なことを教えてもらい、子どもたちの世界の目次をどんどん広げていってほしいと願っています。

地域の諸先輩方、未来を担うくじらっこたちを、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



地域合同避難訓練・引き渡し訓練 ～自分の命を一番守れるのは自分です～

学校で地震が起きたとき、いつも教職員がそばにいるとは限りません。潜るための机もない所にいるかもしれません。「落ちてこない・倒れてこない」場所を、誰かに指示されなくても、自分で見つけて避難できるようになってほしい。そういう願いを込めて、5月26日に地震・津波に対する避難訓練を行いました。

地域の方々も本校体育館に避難し、大良さんからは貴重な体験談を語っていただきました。



不審者対応教室 ～ネットトラブル防止も～

不審者を外見で見分けるのは難しいことや、「助けてー!」と叫ぶこと。また、インターネットの中に潜む危険について具体的に学ぶ時間となりました。教えてくれたのは、秋田臨港警察署の方々です。

本校児童は、ネットやオンラインゲームに接続できる端末の所持率が高く、トラブルに巻き込まれやすい環境にあります。親の目を完全に離さないよう、再度、ご家庭でのルール確認をお願いいたします。



幼保こ小連携・お里帰り交流

5月29日、船川こども園、北浦保育園、いづみ幼稚園の先生たちが1年生の授業参観にいらしてくれました。参観後は、就学前と小学校入学後の学びをつなげていくための協議を行い、本校学区ならではの接続の方向性も見えてきました。

また6月16日には、1年生が船川こども園への「お里帰り交流」に行ってきました。今後、どんな交流ができるか楽しみです。

